



鶉鮎つうしん

岐阜ダルクニュースレター平成27年秋号(52号)

「善きサマリア人」

岐阜ダルク後援会

！ 会長 齋藤幸二



「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、追いはぎに襲われた。追いはぎはその人の服をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。ある祭司がたまたまその道を下って来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。同じように、レビ人もその場所にやって来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもつとかかったら、帰りがけに払います。』さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」

これはキリストが語られた有名なたとえ話ですが、私はこの話を読むたびにばつが悪い思いをします。というのは、このたとえで、強盗に襲われた人を見て向こう側を通り過ぎて行ったのは祭司、レビ人という当時の宗教家たちだったからです。『私が宗教家だということは、当然宗教的な生き方をしているはずだし、愛について教えているのだから、当然愛を実践している』そんな思い違いをしている自分に気付かされるのです。

善いサマリア人は、まず傷ついた人を見て、憐れに思い、その人に近づき、手当てをし、宿屋の費用を払いました。愛するということはこのように共感し、勇気を持って近づき、助け、また負担をすることです。この社会には、人生という旅の途中で、傷つき、助けを必要としている人々があります。ダルクもまたそのような人々の集まりです。

共感し、勇気を持って近づき、関わり、また負担をする、ということは決して簡単なことではありません。でも多くの方が善きサマリア人としてダルクに対して共感してくださり、関わってくださり、費用を負担して支えてくださることを神に感謝しています。私たちにこれからもそうした力が与えられ続けるように祈りたいと思います。

仲間の体験談

マサヒロ

僕が初めて薬物を使ったのは13歳の時で、先輩に勧められてシンナーを吸いました。薬に興味があったので特になんの抵抗もなく吸いました。それからは、シンナーやガスを吸う様になってせき止めも飲む様になりました。16歳の時シンナーとガスは吸わなくなりましたが、せき止めと処方薬を飲む様になり、29歳まで止まりませんでした。うまくいかない事を母親や友達に当たりちらしました。いつも薬を飲んでいたので怖い物などありませんでした。そして母親と電話でケンカをした時、家に灯油をまいて火をつけて家を全焼させました。それで僕は刑務所に行きました。1年8ヶ月で3ヶ月の仮釈放をもらって出所しました。



僕は最初、仮釈放の間の3ヶ月間だけいるつもりで香川ダルクにつながりました。それでただ時間が経つのを待ちました。仮釈放が切れたら今度はダルクにいたら親が安心するからとか罪ほろぼしのためにいるとか自分に言い訳をして、自分のためにいるとはどうしても思えませんでした。そして8ヶ月でダルクを飛び出しました。僕の前にダルクを出た人の所に行き、すぐに薬を飲みました。捕まってから3年位体に薬を入れてなかったの自分には薬を使わないでいけると思っていました。自信もありました。でも薬を飲む時は「これを1錠飲んだら多いけん半錠だけ飲もう」それ以外は何も考えずに飲みました。その後気づくと、さらに眠剤を1錠と安定剤を1錠飲んでいました。結局薬が止められませんでした。

そして、また一からやり直すために岐阜ダルクに来る事になりました。ここに来て、薬を飲んでいない時の自分の弱さに気がきました。まだ来たばかりですが、自分の弱さを受け入れて、生き方や考え方を変えていく様に生活したいと思います。

ケイコ

5年前の事です。執行猶予中で妊娠中にもかかわらず、私は覚せい剤を使用していました。切迫早産気味になり、病院へ行くと看護師さんに薬物の尿検査を求められました。当然反応が出たので逮捕されるはずでしたが、警察には出産もあるからと在宅扱いしてもらい、弁護士さんの勧めもあって岐阜ダルクへ通うことになりました。裁判で少しでも刑が軽くなるのが目的でした。子供を産み、子供は祖母に預けながらダルクへ行っていました。しかし祖母が足をくじいて子供の面倒を見れなくなってしまったので、ダルクへ行けなくなってしまいました。私は仕方なくNAのミーティングのみに通い始めました。裁判で大量の資料を提出したので、多少刑は軽くなったものの、私は裁判の直前に2人目の子を妊娠し、そのまま刑務所へ行き相変わらずめっちゃくちゃな性格は変わらないままでした。



施設長と手紙でやり取りをし、出所後も通うつもりでしたが、結局私はダルクへ行きませんでした。子育てで壁にぶち当たり、家族と衝突しだしてしまい、私は自分のやり方で対処して結果的に親身になってくれた男性の所へ出て行きました。覚せい剤も再使用しました。そして平成25年11月に男性とのつれから再び逮捕されて2回目の刑務所へ行くことになりました。親に見放されました。でもここまで来て、やっと私はもうどうにもならないのだと自覚することができたのです。

刑務所を出て、今回はすぐに自分から女性ハウスへの入寮を決めてプログラムを行っています。自分のやり方で生きようとして失敗したので、これからは違う生き方で回復していきたいです。まだ来たばかりですが、クリンな日々を積み重ねて、いつか子供と家族に変わった自分を見てもらえたらいいと思います。

ボランティア・レポート

日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ療法士

代表 鈴木美智枝

はじめに

私は、H27年3月14日の岐阜県多治見市文化会館で開催されました岐阜ダルクミニフォーラムに参加いたしました。その時ダルクの仲間達が「薬物依存症は病気です。今も病気です」と体験発表をされた時、どこが病気と認識しておられるのか疑問に思いました。代表の遠山香様からいただきました冊子に薬物依存症は社会的、肉体的、精神的、霊的に破壊される病気であることを知りました。この症状改善する方法をヨーガ療法は提供することができます。

*ヨーガ療法の目標

身体機能の調整。心理的側面の調整。様々なヨーガの智慧による完全なる心身両面のセルフコントロールの体得(無智から生じる我執/我欲からの脱却)

○そこから身体的・精神的・社会的健康のみならずスピリチュアルな健康を作り出していきます。ヨーガ療法の人間観(五臓説)…病気の原因はどこにあるか自分で見つけてもらいます。

◎タイッティリーヤ・ウパニシャッドでは人間は5層の鞘でできていると示されている。

食物鞘：食物から形成されている肉体の層 (体操)

生気鞘：呼吸によって体内に取り込む。エネルギー、ブラーナで形成の層 (呼吸法)

意思鞘：知覚作用と感情、感覚の心理作用が行われる層 (静感法・客観視)

理智鞘：認知や知的判断を司る層 (心理教育・瞑想)

歓喜鞘：記憶の貯蔵庫で純粋意識[神様]と繋がっている層 (瞑想・心理教育)

*五臓説に基づくヨーガ療法の治療と指導をおこないます。

不安は

- ・生きている限り不安は生じます。
- ・不安は軽減、消す対象ではない。
- ・乗り越える対象。
- ・不安は自分で作り出している。
- ・具体的対応が決まると不安は必要なくなる。
- ・執着から離れられると不安は必要なくなる。
- ・セルフトレーニングしかない。
- ・トレーニング結果は練習量に比例する。

以上が幸せをつかむひとつの方法です。ヨーガ療法で静かに自分と向き合ひましょう。



ヨガをやっている支援者の方を通じて先生方と知り合い、今年の2月から仲間たちみんなに教えていただいています。月に2回、様々な身体技法や呼吸法など、ミーティングとはまた違う方法によって自分自身を知り、さらにコントロールするやり方を学ぶ機会となっています。

8月

- 1 NA花火フェロウシップ参加
薬物電話相談日
- 2 日本キリスト改革派大垣教会 活動紹介
- 3 中日新聞社会事業団助成金贈呈式
- 4 ダルク後援会議 8 薬物電話相談日
- 5 フラワーセラピー、岐阜ダルク家族会
- 6 各務原病院クロッカス・メッセージ
- 7 中高生体験学習受け入れ
- 8 電話相談日
- 9 多治見教会にて活動紹介
- 10 各務原病院クロッカス・メッセージ
- 11 岐阜拘置所面会
- 12 中高生体験学習フィードバック
- 13 電話相談日
- 14 岐阜ダルク家族会、
カトリック五反城教会にて活動紹介
- 15 レクリエーション(大家)
- 16 笠松刑務所薬物離脱指導
- 17 ヨガ、笠松刑務所薬物離脱指導
- 18 聖イエス会岐阜教会にて活動紹介
可児福音教会にて活動紹介

9月

- 2 石川県警小松警察署面会
- 3 ダルク後援会議
- 4 薬物電話相談日
- 5 カトリック高蔵寺教会にて活動紹介
- 6 薬物電話相談日
- 7 ヨガ、
岐阜県男女共同参画プラザ団体交流会
- 8 薬物電話相談日
- 9 香川ダルク女性フォーラム参加
- 10 岐阜ダルク家族会
- 11 笠松キリスト教会にて活動紹介
- 12 笠松刑務所薬物離脱指導
- 13 薬物電話相談日
- 14 木曾川キリスト教会にて活動紹介
フラワーセラピー
- 15 ヨガ
- 16 チャリティコンサート、
薬物電話相談日
- 17 岐阜ダルク家族会
- 18 笠松刑務所薬物離脱指導

10月

- 3 薬物電話相談日
- 4 カトリック多治見教会バザー、アガベ
チャーチ土岐チャペルにて活動紹介
- 5 薬物電話相談日、京都ダルクフォーラム
- 6 岐阜ダルク家族会
- 7 ルーテル大垣教会にて活動紹介
- 8 岐阜市民生委員協議会にて活動紹介
- 9 薬物電話相談日 15 ダルク後援会議
- 10 薬物電話相談日、
ニュースレター発送作業

チャリティコンサート

9/26

169人の方々に来てくださり、チケットの売り上げとご寄付を合わせて245,887円いただきました。大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。



今年も地元の音楽家の方々のご支援で開催できました。荘厳な教会に響く美しい歌声・パイプオルガンやバイオリンの音色に心が洗われました。

レクリエーション

9/22

世界淡水魚園
OASIS PARK



過去の自分の行動を思い出すなど、新しい気づきもあります。リフレッシュでき、明日からまた頑張れます！

レクを計画することも自立に向けた練習です。

毎月1回、自分たちで計画してレクリエーションに行きます。9月はアクアトぎふに行きました。

岐阜市生涯学習センター・中高生のためのボランティア基礎講座 中学生受け入れ

8/11



2人の中学生が仲間と一緒に1日過ごして、そこで感じたことを発表してくれました。ダルクの人たちに出会えて良かったと言ってくれて、嬉しかった。

香川ダルク
女性フォーラム

9/12

薬物を必要としない生き方を学んでいきたい。大きな力に自分をゆだねることで、生きることに少し楽になっています。

「病的な依存から自立へ女性の生きづらさからの解放」をテーマに開催されました。

花づくり



フラワーセラピーで花の美しさを実感した仲間たちが今、花を育てています。中日新聞社の助成金をいただき、女性ハウスを花でいっぱいにしていきます。

花がきれいだと感じられることも、回復の喜びの一つです。自然の素晴らしさがだんだん分かってきました。嬉しい！

今後の
活動予定

10月

- 18 カトリック岐阜教会バザー手伝い
- 19 笠松刑務所薬物離脱指導
- 20 薬物電話相談日
- 21 岐阜ダルク家族会、セレンティパークジ
ヤパン名古屋フォーラム、カトリック大
垣教会にて活動紹介
- 22 笠松刑務所薬物離脱指導
- 23 心の健康フェスティバル(各務原)
- 24 カトリック宮教会バザー手伝い、
フラワーセラピー

NAコンベンション(福岡)

7/23
~26



緊張したけど、全国の仲間の声に支えられました。共に回復していきたいです。

年に1回、全国から仲間が集まる11回目のコンベンションでした。



12月

- | | | |
|-------|------------------------|------------|
| 1 | カトリック宮教会バザー | 23~24 |
| 7 | ルーテル岐阜教会バザー手伝い | 忘年会 in 下呂 |
| 11 | 薬物電話相談日 | ダルク家族会 |
| 12 | 岐阜県立加茂高校講演 | 26 薬物電話相談日 |
| 14 | 薬物電話相談日 | ダルク家族会 |
| 15 | 関キリスト教会にて活動紹介 | |
| 19 | カトリック高蔵寺教会バザー、岐阜ダルク家族会 | |
| 20~21 | 丁CCA参加 | |
| 22 | アガベチャーチ瑞浪チャペルにて活動紹介 | |
| 23 | 薬物電話相談日 | |
| 24 | アガベチャーチ瑞浪チャペルにて活動紹介 | |
| 25 | 笠松刑務所薬物離脱指導 | |
| 26 | 薬物電話相談日 | |

ランニングや筋トレ、バラづくりを教えてください。募集しています。よろしくお願ひします。



女性ハウスだより

岐阜ダルク
女性ハウス責任者 勇 陽子



季節も変わり、朝晩と肌寒くなりましたが、皆さんお変わりなくお過ごしでしょうか。

いつも温かいご支援と、ご理解を本当にありがとうございます。

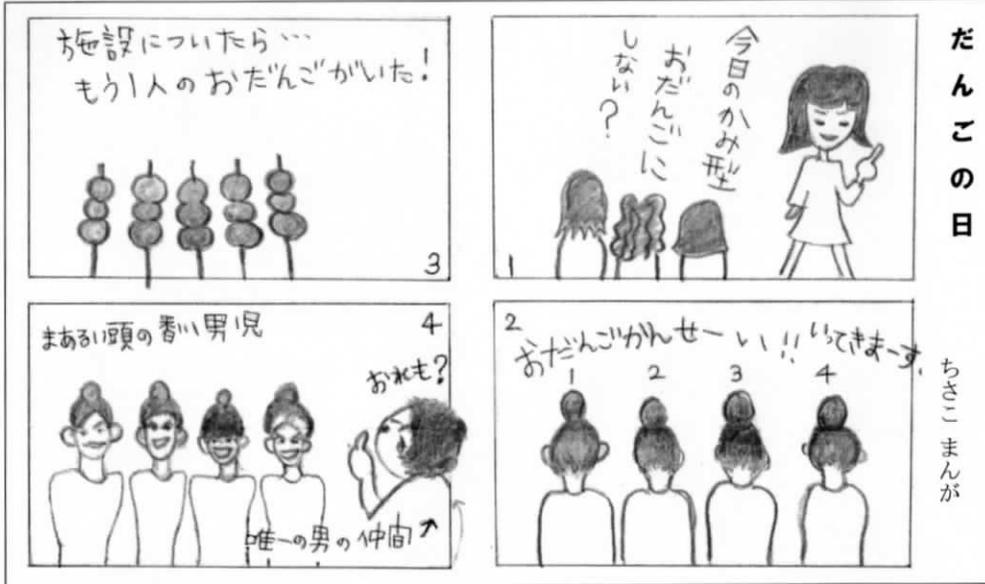
現在、女性ハウスでは4名の仲間でプログラムを行っています。

生活習慣を変える事や、人間関係の練習や、自分自身を知る事など、一人では続ける事が難しいので、仲間と共にやっています。

中には、子供さんがいる仲間がいます。私自身、子供がいないので、子供がいるという気持ちが分からないことが残念なのですが、ここにいる仲間がリハビリを終えて（どういう形で社会に戻るかは色々あると思いますが）その人らしい生き方で輝けることを願っています。

これからも女性ハウスの活動をどうか見守って下さい。よろしくお願いします。

感謝の内に



施設長だより

NPO 岐阜ダルク
施設長 遠山香



先日は、多治見カトリック教会で、ボランティアの演奏者の方々によりチャペルコンサートが開かれました。多くの来場者に恵まれ、新しい土地でダルクの活動を知っていただく機会が与えられました。

ダルクには、この方々をはじめ、多くの支援者が関わって下さっています。設立当初から事務所で留守番を引き受けて下さったり、後援会の一員となり活動資金を集めることを考えたり、ニュースレターの製作や発送作業などにも参加して下さいます。

その他にも、フラワーセラピーやヨガ、運動プログラムのサポートと近年になり支援の輪が広がりを見せてくれています。

先日も、多治見カトリック教会のバザーに出展させてもらった際、仲間の一人が駐車場係にまわることになったため人数が足りなくなり、悩んだ末に地元の支援者に連絡したところ、お孫さんと娘さんを伴いお手伝いに来ていただき本当に助かりました。

薬物依存症というなかなか理解されにくい私達の声に耳を傾け、目立たないことにも喜んで支えて下さっている存在があつてこそ、私達が回復へのリハビリに励むことができています。

感謝します。

「岐阜ダルクミニフォーラム薬物依存症は病気です」を開催します。

依存症は死に至る進行性の病であり、決して軽視できないものです。しかし、適切な治療プログラムを実践すれば必ず回復できるものです。そうしたことを、現在ダルクで毎日を送っているメンバーの体験談などを通して、参加者の皆様とともに考える機会とします。ぜひお越しください！

日時：平成27年11月29日(日) 13:00~16:00(受付 12:30)

会場：かみなり村北館

(岐阜県羽島市正木町坂丸2丁目78番地。名鉄竹鼻線須賀駅から徒歩15分)

参加費：無料

定員：100名

プログラム：援助職者の話、薬物依存症者の家族の体験談、ダルクメンバーの体験談、ダルクメンバーへのインタビュー、自助グループの紹介、ダルクスタッフの話

※ 事前申し込みは不要です。直接会場までお越しください。お待ちしております。

ご支援のご協力をいただき心から御礼申し上げます

献金者名 (6月26日～9月30日)

原政子 光楽英生 颯田宏之 古田さよ子 柴田悦子 浅井敏明 下条登代子 大垣教会・伊藤久美子 味噌
和子 羽島地区更生保護女性会会長・箕浦久子 中島奈代 揖斐キリスト教会内・高木式子 伊藤直美 青井
初恵 永嶋恵美 北谷雅春 池田時造 松井康代 堀尾佳広 弁護士・山本亮 弁護士・伊藤知恵子 高富グ
レイスチャペル・金森洋三 斎藤栄治 加茂保護区保護司会 久保田芳則 聖泉キリスト教会 多治見廣司
加藤洋子 山田慶子 小川真理子 稲葉和子 森弘子 塚本恵一 福島春美 中堀義広 松岡毅明 臨済宗
妙心寺派・正願寺 高瀬松男・つや子 伊藤公一 岐阜純福音教会 木下容子 渡辺眞帆 佐藤恵司 清水宗
夫 幼き聖マリア修道会 八田栄子 中西東峰 成井尋江 森弘子 今川キメ子・希美代 弁護士・岡村晴美
山本美佐子 土岐保護区保護司・山田直 戸崎喜久代 加藤洋子 岐阜キリスト教会 大竹幸子 齊藤栄子
菅沼登志子 田代幸生 中京大学スポーツ科学部・家田重晴 ルーテル岐阜教会 羽島キリスト教会の皆様
大垣キリスト革命派教会の皆様 岐阜純福音教会 大垣キリスト教会 弁護士・青木誠二 カトリック五反城
教会の皆様 高富グレイスチャペル 齋藤幸二 セルフリカバリー代表理事・猪本光寛 加藤充啓 吉田春江
カトリック高蔵寺教会の皆様 笠松キリスト教会の皆様 木曾川キリスト教会の皆様 多治見カトリック教
会の皆様 朝日聖書教会の皆様 多治見教会の皆様 聖イエス会岐阜教会の皆様 可児福音教会の皆様 匿
名者多数

献品者名

岡本敏孝 夢子&豊和 山田慶子 木下容子 須田 佐藤恵司

※お名前の記載につきましては注意を払っておりますが、万が一お名前の誤字・脱字または記載漏れなどござ
いしましたら、誠に申し訳ありませんが、ダルクまでご連絡をいただけますようお願い申し上げます。

※発送作業簡略化のため皆様全員に振込用紙を同封させていただいておりますことをご了承下さい。また匿名
希望の方は、恐れいりますが、その旨を振り込み用紙通信欄にその都度ご記入下さいますようお願い致します。
※岐阜ダルクでは岐阜ダルク及び女性ハウスの2施設の地代家賃、水道光熱費、専任スタッフの人件費等、毎
月一定の固定費がかかる一方、「中間施設」の性格上、きわめて財務基盤が不安定で、皆様方のご寄付が欠か
せません。引き続きご理解とお力添えをお願い申し上げます。

※岐阜ダルク 郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

※車両準備基金へのご協力をもうしあげます

仲間の主たる移動車両のウィッシュ (7人乗り) が17万キロを超えました。早い時期の買い替えが必要ですが、例により購入資金が不足しています。み
なさまがたのお力添えをいただければ幸いです。

郵便振替口座 00820-3-207230 女性ハウスを支える会

・バザーや地域のフリーマーケットへの参加を定期的に行っています。

ご家庭で眠っている新品のタオルや家庭用品や衣類などがありましたら献品のご協力をお願い申し上げます。たくさんあ
りましたらダルクから近郊の方でしたら取りに伺わせていただきますのでご連絡下さい。(058-251-6922)

編集 特定非営利活動法人 岐阜ダルク
編集担当 岐阜ダルク後援会 齋藤幸二 鈴木輝一郎
〒500-8175 岐阜市長住町7-3 TEL/FAX: 058-251-6922
Email: gifudarc2004@yahoo.co.jp
ホームページ: <http://gifu-darc.sakura.ne.jp/>
ダルク日記『今日もぐるぐる』: <http://darcblog.sblo.jp/>
2015年 岐阜ダルクニュースレター平成27年秋号 (No.52)
定価 1部 200円
編集責任者 遠山 香
発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター